

平成 29 年 6 月 29 日

人を叩く（他害行為）

「叩く」には、どういうものがあるか・理由

叩くという行為には、必ず理由があります。

- 気に入らないから叩く
- かまってほしいから叩く、お友達や母親の反応を見たい場合
- 叩かれるから叩く（ある意味正当防衛）
- 叩くという事が良くないことだと理解できていない
- 他人に何かを伝えたい場合、言葉でうまく伝えられない、分ってもらえないから叩く
- 周りがたたくのを見て真似をする
- 自分が叩かれることは少ない（虐待を除く）痛みを理解できない
- 自分の要求が通らない
- 好きだから（愛情表現）たたく、特定のお友達のみを叩いてしまう本人はスキンシップとして触っているつもりが力の加減が分からず叩いてしまう
- 他人を注意しようとした場合、注意する場合に適切な言葉が出せず、叩いたり髪の毛を引っ張ってしまう
- 叩くことで叩かれた人がビックリしたり、怒ったりした反応を見るのが楽しくて叩いてしまう
- 感覚として叩いてしまう場、感覚遊びのひとつとして他人を叩いてしまう
- イライラしたりストレスがたまっている場合
- 虐待を受けていたため
- フラッシュバックやタイムスリップ現象で過去のいやな記憶がよみがえって突発的に叩いてしまう場合

どうなるのだろう？

他害行為が癖になると、大人になってもやめない

他害行為を覚えて場数を踏むと、どんどんテクニックを身につけます

厳しい躰や暴力で押さえ込んだ子は、その時点では良くなっても、後々さらにひどい行動障害が現れます

他害行為をやめさせることが出来るのは子どもが小さいうち、そして保護者しかいない

行動障害を、力でねじ伏せようとしても無理。余計に行動障害がひどくなるだけ

行動障害は周囲の環境が作った障害

できることは？

- 叩かせない、叩く前に止める
- 叩くことは良くないことだという事をくりかえし教える
- 言葉や態度で表現させる、できたらほめる
- 他害に行きたくなくなったところで、ちょっと我慢することで叱られずに済んだという、成功体験を積み上げること

どのような場合においても叩くことは良くないという事をどのような環境下においても統一して対応することが望ましい。家（家族）・学校・施設

人を叩く＝傷つける行為は「やってはいけないこと」だということを認識させる



障がい児の他害行為について

他害行為をする自閉症児への対応が、どうしたら良いのか、わかりません。多動でもあります。

支援員みんな、爪で引っかかれたり、メガネを壊されたり、噛みつかれたりしています。

車から飛び出しそうになり、「飛び出したら危ないよ！」と、必死の思いで捕まえると、腕に噛み付いてきます。

通りすがりに、無関係な他の利用者の頬を思い切りつねったり、腕に噛み付いたりもします。

その度に、「痛いから、やめてね！」と注意し、被害を受けた子どもに、「ごめんね」と伝えます。

他害行為をする子に、謝罪を求めても、ニコニコ笑って「ごめんね」と言うだけです。

スタッフみんな、両腕、首元傷だらけです。そのような子どもが数人います。小学生です。

素朴な疑問なのですが…

この場合こういった対応をすれば傷つけられずにその場を抑える事ができるでしょうか。

その子も何かしらのアプローチをしているのだと思います。

こいつをこらしめてやろう！なんてつもりでやっていないことは、わかります。

かまってほしいのかもしれませんが、スタッフの数からして、その子につきっきりというわけにはいきません。

そういう子どもに、やってはいけない事だと伝えるのは、難しいのでしょうか？

大人の障害者支援員をしています。

大変な状況、お察しします。

うちの施設には、自閉症で他害の激しい利用者さんがいます。20歳の男性です。

気に触ることがあると、そばにいる支援員に掴みかかり、力いっぱい爪を立てます。

振りほどこうとすると、爪を立てたまま体重をかけてジャンプしたり、身体を回転させて叫びながら大暴れします。

対応した支援員は手の甲や腕の肉を爪でえぐりとられ、血だらけです。

その都度、「痛いよ、やめてね。」

「ダメだよ。」などなど、優しく伝えてますが、効果はありません。2年たちます。

20歳。大人になると、身体も大きくなり力も強くなります。大暴れすると男性支援員が血だらけになりながら、2人がかりでなんとか抑える始末です。

他害が癖になると、大人になってもやめないということです。

まだ、身体の小さいうちになんとかしてあげたいですね。

私個人としては・・・現状を保護者に理解してもらうことが先決かなと。

包み隠さずに、例えば。

何月何日にこんな状況でこんな行動をとりました。結果として、支援員がこのような怪我をしました。無関係の利用者もこのような怪我をしました。

と、その都度 詳細を説明してはいかがでしょうか。

そして保護者にどのような対応をすれば良いか、伺ってみる。

保護者・心理士・支援員で話が出来ればなお良いですね。

保護者が放置するようなら、市町村などの福祉課に相談してみても。

残念ながら、保護者も発達障害者の可能性もあります。

支援員も人間です。顔や首など皮膚が薄いところに傷がつけば一生消えないかもしれません。

ご存知の通り、他害児童本人には服薬という方法もあります。

まあ、一番良いのは、保護者が危機感を持ち、命がけで我が子に他害行為をやめさせることなんですがね……。これが出来るのは子どもが小さいうち、そして保護者しかいないのです。

うちの施設のくだんの利用者の保護者は、「うちの子は敏感で傷つきやすいです。一番辛いのはうちの子です。」と仰

ってます。眠気がするのが可哀想だからと、薬も最低限しか飲ませてないそうです。

保護者がそのようなスタンスの場合、私たちはあきらめるしかありません。

通所の最中、暑くて嫌だったから。

バスが混んでたから。

ランチに嫌いな物がありそうだったから。

こんな理由で、掴みかかれる支援員を目の当たりにする度に、いたたまれない気持ちになってます。

他害を覚え場数を踏むと、どんどんテクニックを身につけます。そしてターゲットに素早く確実に深傷をつけるようになります。

学童のお子さんたちの未来のためにも、保護者にはきちんと向き合ってほしいものです。

障害児の他害行為

支援学校で講師をしています。私の担当の生徒（14歳女子）の他害行為がひどくて困っています。

知的には2歳程度、発語はありません。動作での要求（トイレなど）はします。自閉症ではなく、知的障害と診断されています。

人懐こくて可愛い子なのですが、悪いことをして注意された時、人が多い所、知らない場所に行ったなどの時、いきなりその注意した相手ではなくても、近くにいる人、通りかかった人などの顔面を思い切り叩きます。それを叱られるとさらに凶暴になって近くの人に掴みかかる、さらにそれを止めた人の顔面を叩くなどします。一旦落ち着かせて「もう大丈夫かな？」と手を離すとまた叩く、掴みかかる、などです。

機嫌良く楽しそうにしている、いきなり叩いてくることがあります。その時はわけがわかりません。反応を楽しんでいるのかもしれませんが、大きく反応しないようにはしていますが、顔面をいきなり強打されて反応するなというのは無理です。

クールダウンさせるために一度強く叱ったら別室に入れていますが、それでリセットされる時もあるし、されていない時もあります。

思い切り叩き返す父親や兄にはしないそうですが、小学生の弟や母親、おばあちゃんは叩くそうです。学校は絶対やり返してはいけないので、私は叩かれっぱなしです。

私が力の強い男性だったらそんなこともされないのですが、その子は私よりはるかに体が大きく、その子が登校してきた時から平静は装っているものの、いつ叩かれるかと思うと常にドキドキして、精神的にまいっています。

でもその子は私の事が嫌いなのではなく、とても甘えてきます。学校に着くと駆け寄ってきます。

情けないですが勉強が手に付かず、採用試験も落ちてしまいました。

他の先生方も協力してくださいますが、それぞれに忙しいので頼りすぎるわけにもいきません。

こういう子供に「叩くことは悪いこと」とどうやったら教えられるのでしょうか。

補足

叱られた後など叩きそうな時を予想できる事もありますが、暴れてから叩くとかではなく、楽しそうにしているもふっと顔が変わって、電光石火の早業で平手が飛んできます。前の先生は網膜剥離になりました。もちろん、叩かればなしと言っても、手を掴んで強く叱って後は別室に入れるなどして離しています。ただ、学校はいつまでも別室に入れているわけにもいかず、次の活動があって、クールダウンが十分でないかもしれません。確かに私と2人きりだと落ち着いていますが、他の人がいる時の方が叩かれます。特に別の人に横から注意されたとか。年配の男性教員でその子が悪い事をした時結構荒っぽい扱いをする人がいて、その人がいるととりあえず言うことは聞きますが、その荒っぽい扱いは関係あるのでしょうか？また家庭では父親にかなり激しいしつけもされているとは聞きました。それでも

しないと弟や祖母を叩くからだそうです。力関係をはっきりさせないとダメだと男性教員は言うのですが、力ではかなわないので、時間になったらオモチャを取り上げるとか、ひっぱられても付いていかないとかしています。長々すみません。

知能検査結果

知的障害児の行動障害を、力でねじ伏せようとしたって無理ですよ。余計に行動障害がひどくなるだけです。

ウチの子の場合（自閉症児・特別支援学校・中1）、3年前から通りがかりの赤ちゃんに手を出すという、社会的にも絶対に許されない行動障害に悩まされました。何度言っても同じことを繰り返すので、人前でも思いっきりひっぱたいたこともあります。かといって、それで行動障害が治まるわけではないんですけどね。まずは、養育者や支援者が冷静になることだと思います。

知的障害と行動障害は別のモノです。知的障害は生まれつきのことですから仕方ありません。でも、行動障害は周囲の環境が作った障害なんです。ウチの子の場合は、4年生の時に受け持った担任の先生からの無理難題な躰が原因でした。もっとも、先生だけでなく、原因が親である場合も少なくありませんし、学童や児童デイの先生とか、スクールバスの添乗員さんが原因だったりすることもあります。

さて、行動障害を取り除くにはどうするか。

暴力で押さえ込むのはダメです。もちろん、他害に及ぼうとしているときに腕をつかんだり、脇から抱えたりは当然しなきゃいけないでしょう。でも叩き返したりは、ますますエスカレートさせるだけです。ここは大変ですけど、他害に行きそうになったらサッと間に入るとか、別の方に気を逸らすとか、手を出す前に抑えるしかありません。

私もなんとかウチの子をそうやって躰けて、ようやく行動障害がなくなってきたところです。要するに他害に行きたくなったところで、ちょっと我慢することで叱られずに済んだという、成功体験を積み上げることですね。激しく叱るのは1回で充分です。

それでも、思春期になると多かれ少なかれ、多少荒れるのは仕方ないみたいですね。ウチでも今は、私に対する暴力で大変です。でも、私と二人っきりでいると比較的安定してます。だから、週末にはなるべく子供につきあって、遊びに連れ出すようにしています。要は信頼関係の構築が何より大事なんですよ。たいへんですけど。

補足読ませていただきました。

う～ん、これは深刻ですね。

ただいえることは、厳しい躰や暴力で押さえ込んだ子は、その時点では良くなっても、後々さらにひどい行動障害が現れます。荒っぽい扱いをする男性教員や厳しいお父さんがそうさせたのでしょ。

とはいえ、私自身も自分の子供を叩いてしまったことはありますし、つい感情的になって大声を出してしまうこともあります。あとで後悔はしますけどね。

ベテランの支援者とそうでない人の差はここを出るんですね。児童デイなんかでも、ベテランの支援員さんは、乱暴な子の顔色が変わった瞬間にサッと間に入ったり、叩かれそうな子を別の場所に連れて行ったりします。